

福祉教育レシピ一覧

「ふくし」とは「ふだんのくらしを しあわせに」していくこと、みんなが笑顔で暮らせるように考えることです。子どもたちに福祉のメッセージを伝えるために、バラエティ豊かなメニューを用意しています。ぜひご活用ください。

No.	メニュー内容	講師の例	所要時間
1	<p>ふくし講座</p> <p>① ボランティアってなあに？ ボランティアの基本的な考え方や活動内容について説明します。</p> <p>② 赤い羽根共同募金ってなあに？ 赤い羽根共同募金の仕組みをわかりやすく説明します。</p> <p>③ 認知症ってなあに？ 認知症についての知識や接し方をわかりやすく一緒に学びます。</p> <p>④ 介護食ってなあに？ 調理実習を交えながら介護食の魔法の力を学びます。</p>	<p>① 昭和三区社会福祉協議会・ 地域福祉実践者</p> <p>② 昭和三区社会福祉協議会</p> <p>③ 昭和三区西部いきいき支援センター</p> <p>④ 昭和三区社会福祉協議会・ 保健・医療・福祉の専門職</p>	<p>① 45分</p> <p>② 45分</p> <p>③ 60～90分</p> <p>④ 90分</p>
2	<p>ふくし体験</p> <p>体験とともに、障がい当事者や高齢者の普段の生活の工夫やユニバーサルデザインについて学びます。</p> <p>① 車いす体験</p> <p>② ガイドヘルプ・アイマスク体験</p> <p>③ 手話体験</p> <p>④ 高齢者疑似体験</p>	<p>① A J U自立の家</p> <p>② 視覚障がい当事者</p> <p>③ 聴覚障がい当事者</p> <p>④ 高齢者疑似体験インストラクター</p>	90分
3	<p>障がい当事者の方との交流</p> <p>クラス単位で障がい当事者の方からお話を聞いたり、レクリエーションなどで交流します。</p>	区内在住・在勤の障がい当事者	45～90分 ×複数日

No.	メニュー内容	講師の例	所要時間
4	ボランティア体験・施設見学 福祉施設で簡単なお手伝いをしたり、利用者の方と交流をします。	区内福祉施設	1日～
5	ユニバーサルデザインって何だろう？ ユニバーサルデザインの基本的な考え方を通して誰もが使いやすい「テレビリモコン」を考えるワーク型のプログラムです。	日立製作所	90分
6	ブラインドワークショップ 視覚をシャットダウンした状態でミッションにチャレンジ！コミュニケーションの大切さを学びます。	一般社団法人日本ダイバーシティ推進協会 久保 博揮 さん	90分
7	体験型多様性理解プログラム「トランス・クエスト」 はじめての福祉教育に最適。ロールプレイングゲームのように、ストーリーに沿ってアイテムを装着し、お互いのできることを見つけていきます。	えた～なる・すまいる主宰 ユニバーサルデザイン・コンシェルジュ 伊藤 千津 さん	90分
8	防災講座～未来を担う子どもたちに伝えたい～ いつ起こるかかわからない大震災！防災紙芝居、映像、ゲームなどを通して防災への理解を深めます。	なごや防災ボランティアネットワーク昭和	[低学年] 45～60分 [高学年] 60～90分
9	部活動や生徒会でボランティア！ 音楽演奏やパフォーマンスの披露など何でもOKです。活動先をコーディネートします。		要相談

◆依頼するときの流れです。

- 1 昭和区社会福祉協議会まで「福祉教育依頼表」にてご連絡ください。依頼表は昭和区社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。(実施日の2か月前までをお願いします。)
- 2 講師を調整します。
- 3 学校、講師、社協の三者で打ち合わせをします。オーダーメイドのプログラムを提案します。



【問合先】

名古屋市昭和区社会福祉協議会

〒466-0051

昭和区御器所三丁目18番1号

電話:884-5511 FAX:883-2231

E-mail fukushi@showaku-shakyo.jp

URL <http://www.showaku-shakyo.jp>